

意外に簡単に終わった ISDN工事。 DSUとTAの選択、 環境整備には ちと手こずった。

第2回 導入編



NTTがDSUの売り切り制を開始するという。

DSU：電話局からのISDN回線の終端に接続する装置。ここにTAを接続する。

INS64：ISDNはサービス構想の名称だが、INS64はその中のNTTの商品名。系列商品のINS1500は23B+DでINS64より10倍以上高速だが、非常に高価。

◎ ISDNのDSU買い切り制 導入のニュース

NTTのINSネット64の担当窓口でFAXで申込書を送ってから19日目(DAY19)に自宅の部屋にISDN回線が引き込まれることになった……のは先号で書いたとおりである。しかも、工事が始まる前に請求書を出したいという電話がNTTからかかってきた。

普段は夏に冬モノのバーゲンをやっているでも買わない……なぜなら、冬まで生きるかどうか分からないから……という私だが、ま、それもしょうがないかも……、と諦めたのであった。

結局、工事日の4日前(DAY15)に支払期限の請求書が送られてきた。その明細は以下のとおりである。

INSネット契約料	800円
INS施設設置負担金	72,000円
消費税	2,184円

合計 74,984円

銀行に出かけるついでにさっさと支払ってしまい、さあ、次は工事だと思っていたら、ちょっとしたニュースが飛び込んできた。

友人の話では、NTTがDAY19(つまり回線工事の当日)からDSUの売り切り制を開始するという。もらった新聞の切り抜きを見てみると、「INS64の回線接続機、NTTが売り切り制、契約者からの要望に対応」という見出しの記事が載っている。要約すると……

「従来はレンタルのみだったが、富士通やNEC、沖電気工業、日立製作所のメーカー四社が既に売り切り制を導入していることや、契約者からの要望が多くINS64の需要が大きく伸びると判断した」ため、売り切り制度の導入に踏み切った。価格は新規で75,000円。新規向けの売り切り制とレンタル制が併存するが、「既設のDSUについては黒電話と同様に設置経過年数に応じた価格での買い取りが可能。一年未満なら50,000円。一年以上二年未満が41,000



円など……」。

……ということである（以上、日経産業新聞による）。

う～む、DSUはレンタルだと思い込んでたが、“買い切り”というのが世間の動きらしい。そういえば「DSU使用料：月額1,700円」という項目があったのを思い出す。買うのがトクか、借りるのがトクか、……が、この記事によると「一年未満なら50,000円」で買い取れるわけだ。1日使っても「一年未満」だから、とりあえず初回のレンタル料1,700円を払っておいて、翌月から買い取り……なんかセコい気はするが計算してみる、「75,000円-50,000円+1,700円=13,300円」の“オトク”かもしれない……。

が、しかし、である。ひょっとしてNTTより安いDSUなんかが出てたら、どうするんだ？ ここはやっぱり世間の相場を調べてみる必要があるんじゃないだろうか、と思ひ直す。なかなか賢いケチに徹するのでも大変である。

DAY 19

ついに今日はINSネット64の工事の日である。普段は昼ごろぼちぼちと起きる私も、さすがに今日はちゃんと朝起きた。工事は午後だが、朝から少し掃除する。

コーヒーを飲んでいると、2時を少しまわったところに工事の人が二人組でやってきた。しかし部屋に入ってきたのは1人だけ。

彼はまず壁のコンセント・パネルのカバーを外し、中から電話線の本を引っ張り出す。見ていると、これまで使われていた線以外に、2本の線があまっている。どうやらそいつを使うようだ。

と、彼はマッチ箱くらいのボックスを取り出して、おもむろに2本の線をそれにくっつけた。げ！ それってひょっとしたら今の壁のパネルの下につけちゃうのかな？ ヤだな、ごちゃごちゃするのは（実は部屋のほうがもっとごちゃごちゃなんだが）。

……あれ？ 壁のコンセントで出口が2

つになってるやつはないんですか？

「ええ、NTTの純正だと壁につけるパネルの端子は1つなんですよ。東急ハンズあたりにあるかも知れませんが」（おいおい、そんなの自分で替えちゃっていいの？）

というわけで、壁のパネルの下にちょっとローゼットのついたボックスが両面テープで貼り付けられてしまった。

次に彼が持ち出したのはお弁当箱くらいの白いプラスチックの箱である（今計ってみると、大きさは縦195×横110×厚65mm）。NTTとISDNのロゴがついてる。しかし、あんましカッコよくない。

さっきの小さなローゼット式ボックスにつながる電話線の反対側をDSUの中に組み込んで、さらにDSUの中から、今度は普通の線の倍くらいある太い線（八芯）を引き出す。どうやらこれがINSネット64の回線らしい。私の場合、二股のコンセントにしようので、その先につくのはタバコの箱くらいの大きさになる。この箱から普通の倍くらいの大きさのローゼットでISDNの端末アダプターにつながるだろう。

賃貸マンションであるため、事情を話して壁に設置するのはやめてもらい（とはいえ、両面テープで貼りつけられるくらい軽い）、若干長めの線をつないでおいてもらった。

なんと、これで工事はオシマイである。もちろん、部屋の中での話であって、こんなことをやってる最中にも、工事の人はトランシーバーで外の人と、あれやこれやと話をしている。暇を見て、ちょっと話を聞いてみる。

……最近、INSの工事をする人は多いんですか？

「多いですね。普通の家庭にもつけてますから」

……どんな人がつけるんですかね？

「さあ、わかりませんが……流通業とかの人で家からいろんなことをやるとか、あるんじゃないですか？」



DAY19、今日は待ちに待った工事の日だ。



壁のコンセントで出口が2つになってるやつはないんですか？

太い線（8芯）：DSUとTAを結ぶケーブルのこと。RJ45（ISO IS 8877）という規格。



NTTも率先して携帯端末を使って情報武装しているわけだ。



また請求書がやってきた。

TA：Terminal Adapterの略。ISDN回線で使うモデムと同等の機能をたす装置。

ふ～む、恐るべし流通業である。

そんなことを話しているうちに配線は終わってしまった。外にいた人が、グレーの大きな電話機を持ってきて、タバコの箱に線を差し込んで、通話できるかどうかをチェックする。無事通話完了。

そこで、彼が取り出したのがデジタルムーバだかなんだかの携帯電話と小型のプリンタらしきもののセット。スーパーのレシートよりちょっと大きめの紙をプリンタに差し込んで、どこかに電話をかけ、液晶の画面をちょいちょいとさわると、工事料金など内訳書が出力された。

う～む、NTTも率先して携帯端末を使って情報武装してるわけだ、なるほど……と関心しているうちに工事は無事終了してしまったのであった。

⑨ また請求書がやってきた

さて次に考えなければならないのはTA、つまりDSUとコンピュータの間に入る、モデムみたいなものをどうするかである。

編集部に相談したところ、「探してみるからちょっと待ってくれ」とのこと。ま、無事INSの工事も終わったことだし、焦ることはない（本当は、早くインターネットしたいよ～）と思って少しお休み……していると、工事が終わって2～3日したところで、また請求書が送られてきた。

DAY 21 発行の請求書の明細は以下のとおり。

お買い上げ取り付け	
配線工事（屋内配線）	0円
機器配線	4,500円
レンタル取り付け	
引き込み線	0円
交換設備	0円
配線工事（単体電話）	
既設配線利用	1,200円
機器工事（DSU64）	8,500円
小計	14,200円
基本工事費	4,500円

工事費合計	18,700円
消費税	561円
合計	19,261円

どうやらここに並んでいる「0円」というのは、もうすでに電話局の交換機からこのマンションの建物内までINSネット64が来ているということらしい。だから新しい配線は必要ない……と。これが一般的なのかがどうか知らないが、ま、こういうときには新しい（とはいっても築6年にはなる）建物に入ってるのはトクである。

⑩ ムリヤリお願いのTA接続

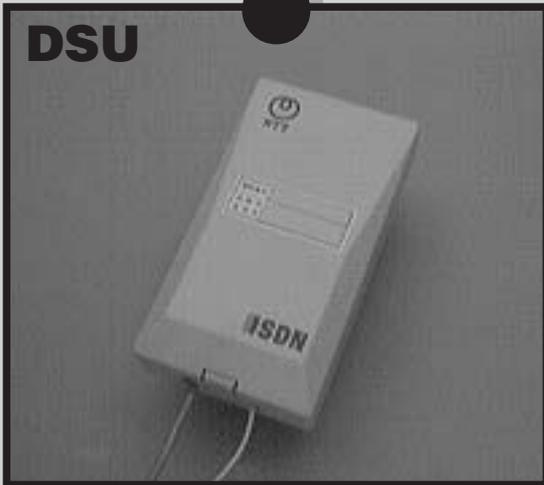
とまあ、なんだかんだで、まだ一度もISDNを使ったこともないのに10万円弱のお金が出て行くことになる。早いとこTAをつないでインターネットを使ってみなきゃ、何も意味がない。しかし、焦って適当なものを買い込んでしまっただけではコトをし損じる。そこでムリヤリ編集部に頼み込んで、編集部で試用しているTAを持ってきてもらって、とにかくインターネットにつないでみることにする。

先号で自宅の住所までパッチリ掲載して業界の有名人になってしまったN氏が持ってきたのは「Linkboy Pocket」というタバコよりほんの少し大きい程度のTAである。こんな小さいの？ と驚いていると、なんと単三の電池4本で動くという。もちろん室内で使う分には電源アダプターを使うのだが、邪魔にならない大きさというのはなかなかグッド。

TAはいんだが、別の問題があった。実は壁の電話コンセントからMacintoshをおいてある机までの距離、直線にして約3m。この机の上にはFAX兼用留守番電話も置いてあるのだが、そこまではソニーから発売されている8mの電話線を使い、天井をわざわざつないであるという状況である。

編集部で使っている短めの八芯式ワイヤーでもDSUをズブッと机のほうにまで引

DSU



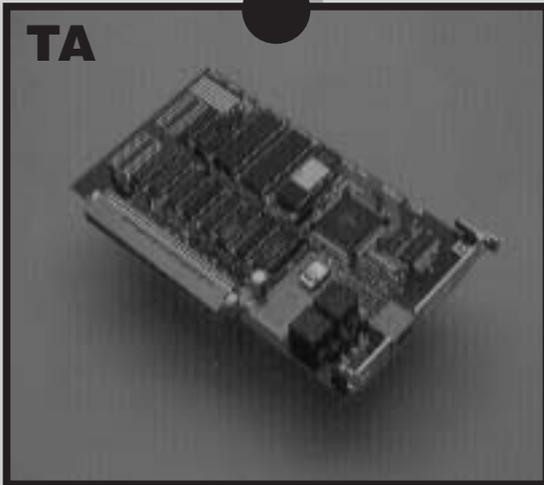
NTTから月額1,700円でレンタルされるDSU。このままでは普通の電話も使えない！ 機能の割には大きいかも？

TA



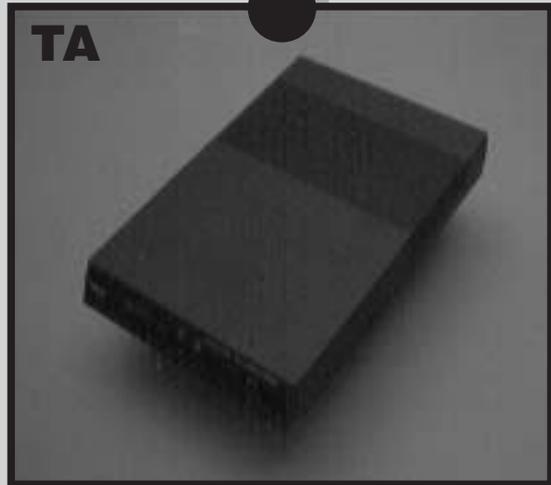
小型で電池でも使える「Linkboy Pocket」は定価49,800円。ノートブック型PCを持っている人には最適。

TA



MacのNUBUSスロットを利用する「TimeLiner」は68,000円。デスク上をすっきりレイアウトしたい人に。

TA



某ショップの広告にも「月々1,700円のお得」とあるDSU内蔵のTA「PCLINK TA/DSU-Mac」は138,000円。

ファックス・モデムとの複雑な関係

ご存知のようにMacintoshにはシリアルポートが2つしかない。普通、プリンタポートの方はプリンタがローカルトークに占有されてしまうので、残りは1つだ。これをTA専用にするのなら話は簡単なのだが、現実にはモデムとの併用が一般的だろう。筆者の場合、FAXモデムでパソコン通信とFAX送信をしていたので、TAからのシリアルと

TA/DSUのアナログ回線につないだFAXモデムのシリアルを切り替えようと考えていた。

しかし、筆者が購入したFAXソフト（FAX stf3.0）の場合、マシンを立ち上げる際に最初にロードされたINITがそのポートを塞いでしまうようである。メカニカルに回線を切り替えたとしても、こうした欲張りは無理なのだ。

このソフトには仮想的にシリアルポー

トを4つまで増設する機能があるが、MacTCPには対応していないし、また当然のごとくPCLINK TA/DSUのV.110モードでのFAX送信はサポートされていない。

というわけで、結局プリンタポートをプリンタとFAXモデムとで共有し、FAXを送る時だけそのINITを組み込む設定で立ちあげ直すことにしたのである。ま、何でも最初にやろうとすると大変である。



ついにインターネットに接続することに成功した。



やっぱりPowerMacに行くしかないかな？

IJ : Internet Initiative Japan というインターネットへの接続サービスを提供している商用プロバイダー。

Mosaic : 米国イリノイ大学のNCSAで開発されたWorld Wide Webの検索ソフトの名前。

CU-SeeMe : 米国コーネル大学で開発されたVideo Conference Systemの名前。相手の顔を見ながらチャットができる。

きずれば、なんとかMacintoshまで届くが、いつも線をまたいで部屋の中をうろうろするわけにもいかない。そこで今回は編集部にある八芯式のワイヤーのうち、一番長いものを持ってきてもらい、接続した。

ソフトウェアのインストールもやってもらい、IJに接続！で、その結果は？もちろん大成功だ。なんとってISDNである。普通のモデムよりは格段に速い……だが、意外なことが判明してしまった。

⑨ 意外な発見 新たな出費……

それはMacintoshの側の問題である。

実は筆者のMacは一時代前の68030マシンだ。漢字Talk 7になって若干重くなったとはいえ、普段ワープロで原稿を書いたり、DRAWでプレゼンテーション用の図表を作ったりする分には全然問題がない。だから当然（と思うのがシロートなのだと思ったのだが）インターネットだって……と考えてしまった。これが間違いだったのである。

もちろんテキストデータをやりとりしている分には、問題はない。しかしMosaicを使って画像をどんどん見るとか、カラー画像の展開をやろうとすると、やたらに時間がかかる。話がややこしくなるので端折ってしまうが、回線は速いものの、なんだかMacの側の処理スピードのおかげで損をしているような気になってしまう。待っている間にも、課金はかさむ……これは結構心理的に負担が大きい。

やっぱりPowerMacに行くしかないか……と考える人も多いかもしれない。だが、それも問題である。筆者は別にMacフリークではないが、来年BUSが変わるという話も聞こえてくるし、今は“買い”じゃないんじゃないか、と考えるくらいの分別(?)はある。それに、現在流通しているインターネット関連のソフトがPowerMac対応かどうかというのも気になるところだ。となると、やっぱり68040のマシンか？となるが、廉価版、コプロなしの680LC40は圧縮の展開などでは効率が悪いだろう。

なんだかんだ悩んだ末に、結局秋葉原で“在庫一掃投げ売り”状態のCentris 660AVを買ってしまった。うう、なんという度重なる出費……。でも明るく考えればAV機能付きだから、今話題の「CU-SeeMe」だって家からできるんだも～ん。

⑩ TAを選ぶ

しばらく喜んで借用したLINKBOYを使っていたが、そろそろ真剣にTAを選ばなければならなくなってきた。そこで編集部にごろなもののリストアップを頼んだところ、次の3つが候補として出てきた。

ボックス型ISDN TA「Linkboy Pocket」

発売元：株式会社ビー・ユー・ジー

価格：¥49,800

ISDN-NuBus Card「TimeLiner」

発売元：有限会社シイエスエス

価格：¥68,000

DSU付きTA「PCLINK TA/DSU-Mac」

発売元：沖電気工業株式会社

価格：¥138,000

最初の「Linkboy Pocket」は、現在借用しているものである。場所をとらないし、デザインもよい。が、これに決めたんじゃあ、この企画の進行上、芸がなさ過ぎる。

2番目の「TimeLiner」は、MacユーザーにぴったんこのNubusカードだ。複数のNubusスロットをもつ機種であれば、マシン周りもすっきりしてよいかもしい。だが、いかんせん、私のマシンはカードが1枚しかささらない。パス！

最後に残ったのが“PCLINK TA/DSU-Mac”である。

サイズはNTTのDSUよりすこし薄いのが、大きさとしては同じようなもの。価格も他のものに較べると明らかに高いが、こいつの優れているのは、「DSU内蔵」というところ。これを買えば、もう毎月1,700円のDSUレンタル料をNTTに支払わなくてよくなる！パチゲー。

それにアナログ電話用のジャックもつい

ているので、別にISDN電話なんか買わなくても、普通の電話が使える.....ということは、ISDNを使ってインターネットしながら、おしゃべりができる。おまけに、筆者のようにINSを使い~の、普通のモデムでBBSにアクセスし~の、という場合、ここにここにモデムをつなげば.....考えたら「改めてISDNの回線を引くこともなかったかなあ」という気もするくらいリーズナブルなやつである(もっとも、NIFTYServeでは「INS-C」をサポートしているおり、TAのほうを利用すれば9600bpsで利用できる)。

⑨ 室内でのISDN回線引き直し

このように「DSU買い切り」という世間の風向きを考慮の末、TAは決まった。あとは室内の配線である。

前に書いたように、筆者は壁のコンセントから机の上のFAX留守電まで、ソニー製の8mの電話コードを引っ張っている。そこで、例の太い八芯式の線を机のところまで持ってくるよりも、壁からDSUまでつながっている(普通に見える)電話線を延長すれば少しはうるさくないだろう.....と考えるのは道理である。

しかし、NTTのDSUでこれをやってみたところ、ちゃんと機能しなかった。実はフオンネットを組もうと思って買ったソニーの電話延長コードが二芯式だったため、タコってしまった経験があるので、さんざんそれらしい電話の延長コードをとっかえひっかえしてつないでみたが、駄目なのである。おかしいな~.....壁からDSUに入っている線は確かに二芯式で、モジュラーのピンの位置も違わないはずなのに.....と思ってNTTのDSUまでの線を延長するのは諦めていたのだが、“モノは試し”ということで「PCLINK」まで“苦い思い出”のソニーの延長コードをつないだところ.....動いた! んである。

う~ん、これはいいわい.....と考えたのだが、要するにNTTのDSUは局給電式であるために長いコードでは対応できない。これに対して「PCLINK」のほうは家庭内

の電源を取っているので対応できるんじゃないか、というのが素人の考えである。逆にいえば、最初からそういう位置に取り付け工事を頼めば、何の問題もなかったのかもしれない、という疑問は残るのであった。

⑩ 3度目の請求書

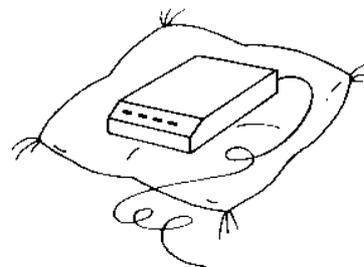
申し込んでからもうそんなに経っちゃったのか、と思うくらいDAY 43に、またまた請求書が送られてきた。今度の明細は以下のとおりである。

住宅用回線使用料(基本料)	
日割額(先月分の日割)	821円
住宅用回線使用料(基本料)	
翌月分	2,830円
回線接続装置(DSU)使用料	
日割額(先月分の日割)	493円
回線接続装置(DSU)使用料	
翌月分	1,700円
お買い上げ商品代金	1,950円
INS通話料	20円
消費税相当額	233円
<hr/>	
合計	8,047円

今月の請求書は、前月の日割分が入っていたり、工事費の一部が含まれているため、ちょっと高めなんだろうと思う。ま、これもDSUを返してしまえばもっと安くなるはずだ。

あれ? INS通話料20円? ん? この期間はTAも何もなかったもので、実際には通話はしてないと思うんだが、ひょっとしたら最初の日に工事の人が“試し”にかけた電話がもしれない。がっかりしてるぞ、NTT!

ということで、実際に“Net Surfin'”してるとどれくらい料金がかかるかを報告できないまま、残念ながら締め切りが来てしまった。しかしINSネット64自体の料金は、ダイヤルアップでびゅんびゅん「Mosaic」できるのを考えると、高くないという気がしている昨今である。



PCLINK TA/DSUならもうDSUレンタル料金をNTTに支払わなくてもよくなる。



日夜、Net Surfin'にはまっている昨今である。

局給電式：動作に必要な電力を電話線からとりこむ方式。停電時にも動作する。

Net Surfin'：Mosaicなどのソフトを使ってリンクをたどりながら、インターネット上のいろいろなサーバを巡ること。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp